

新年明けまして

おめでとうございませす

皆さまには、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。

市民の皆さまの力強いご支援を賜り市政を担うこととなり、はや2カ月が経とうとしています。新年を迎え、あらためて市民の皆さまのために汗を流し、薩摩川内市のさらなる飛躍のために熟慮断行、頑張る決意を新たにしたいところです。

さて、国内の経済情勢は米国のサブプライムローン問題に端を発

した世界的な金融危機の広がりを受けて、急激な円高・株安となり、景気の先行きが不透明なことから個人消費も落ち込み景気は後退局面といえます。

このように、大変厳しい状況ですが本市では、南九州西回り自動車道「川内隈之城道路」の建設、重要港湾川内港の利用増、九州新幹線全線開業などに向けた新たな施策を積極的に展開し、南九州の拠点都市としての機能を兼ね備えた都市づくりを進めてまいります。



薩摩川内市長

岩切 秀雄
いわきり ひでお

併せて、合併後5年目を迎え、さらなる市民の一体感醸成、地域間格差の解消、集落再生活動の支援など、地域力創出に努めるとともに、中心市街地の活性化、農林・畜産・水産業振興を図り、活力あるまちづくりを進めていく考えであり、私のマニフェストに掲げました三つの基本政策と六つの重点項目、26の施策・事業を重点とし、早速、平成21年度の予算を策定します。

また、地方分権の受け皿として本市の政策実行効率を高め、スピー

ディーで質の高い市政経営を展開するため、副市長を2人体制とし、新たに船出しました。

経済情勢や本市の課題など大変厳しい状況ですが、躍動する薩摩川内市のまちづくりを市民の皆さまと一体となり、協働で進めてまいります。最後に、平成21年は丑年ですが、牛のように足腰の強い安定した一年となりますよう、また、皆さまのご健康とご多幸を祈念して新年のあいさついたします。

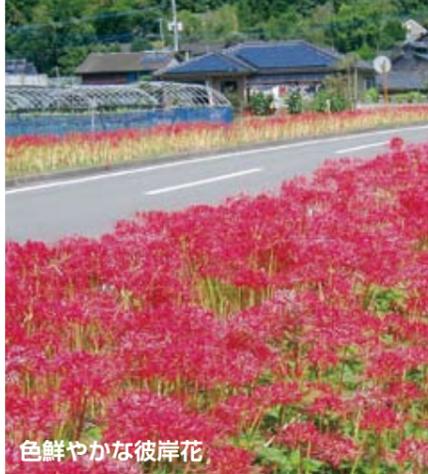
平成21年 元旦



満開の桜



美しく咲く市花カノコユリ



色鮮やかな彼岸花



鈴なりの市木クロガネモチ

平成20年

主な出来事

新年を迎え、いよいよ平成21年が始まりました。今年が丑年。地にどっしりと足をつけ、一步一步、目標に向かって進んでいきたいですね。皆さんは、どのような年にしたいですか。ここで昨年を振り返り、本市の主な出来事をまとめてみました。



Satsuma sendai topics 01
市長および市議会議員選挙が執行

10月19日、本市では2回目の市長および市議会議員選挙が執行されました。市長選挙には4人が立候補し、市政のけん引役である新市長に岩切秀雄氏が初当選。また、市議会議員選挙は今回から選挙区なしで執行され、48人の立候補者の中から34人の市議会議員が誕生しました。なお、森卓朗初代市長が11月6日に任期満了により退任され、多くの関係者に見送られ、市役所を後にしました。



平成20年第5回市議会定例会(12月15日(月))



昨年11月、任期満了により森卓朗市長が退任



Satsuma sendai topics 03
川永野地区が処分場整備地に決まる

県は公共関与による産業廃棄物管理型最終処分場について、平成19年5月、本市川永野地区の採石場跡地を候補地として選定し、立地可能性等調査をしてきましたが、安全性の高い全国でもモデルとなるような施設の建設が可能であると判断し、候補地から整備地に格上げしました。伊藤祐一郎県知事は、産業振興に必要な不可欠な施設であることを強調しました。



Satsuma sendai topics 02
本庁と甌島地域4支所を結ぶ光ケーブル開通

10月1日、情報格差解消を図ることを目的とした本庁と甌島地域の4支所を結ぶ、海底光ケーブル回線(全長約184km)が完成。これにより、防災・医療・福祉などの行政サービスの発展につながることが期待されます。10月2日に、完成式典も開催され、森卓朗市長、向原翼教育長と下甌地域の手打小学校児童などが光ケーブル通信によるテレビ対談を楽しみました。